

横須賀市地域福祉計画に基づく市社協の事業実施状況一覧表

1 丸ごと受け止める福祉のまちづくり

(1) 地域の支え合い機能の強化

② 地域における見守り体制の強化

【施策の展開】◎ 地域の見守り体制の強化

民生委員児童委員を中心に、本市社会福祉協議会独自の制度である社会福祉推進委員や、町内会・自治会等との連携を行うことで、地域の見守り体制を強化します。

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
社会福祉推進員連絡会の設置促進	社会福祉推進委員相互の連絡を図るため、社会福祉推進委員要綱第9条に基づき、地区社協における社会福祉推進委員の連絡組織の設置を促進	平成19年度以降は全ての地区社協が連絡会(又は準ずるもの)を立ち上げたが一部の地区社協は次の状況 〔よこすか海辺ニュータウン地区社協〕 平成27年7月から毎月1回地区社協の各部会員が集まり連絡会を開催(分野別部会連絡会) 〔安浦地区社協・逸見地区社協(小規模地区社協)、田戸親睦会(町内会)〕 連絡会としての設置はないが、全員が地区社協の役員、各部会員、地区社協活動の担い手として地域活動に取り組み、連絡体制を整備
社会福祉推進委員研修会の開催	社会福祉推進委員のための全体研修及び新任研修を開催	〔全体研修参加者〕 令和元年度:1,016人、55人(2回開催) 令和2年度:中止 令和3年度:Youtube視聴数2,233回、地区別研修303人 令和4年度:489人 〔新任研修参加者〕 令和元年度:55人、令和2年度:743人、令和3年度:60人、令和4年度は全体研修と同時開催
横須賀市民生委員児童委員協議会事務局	本会との連携・協働をはじめ、社会福祉法人、福祉施設や関係行政機関、関係団体と連携しながら、地域福祉推進のため委員の活動と地区民児協の運営・活動への支援、市民児協事業計画に基づき各種会議・行事などを開催	①市民児協事業計画に基づき、各種会議・行事などの実施 ②常任理事会(毎月)、正副会長会議、監事会、理事会の開催 ③民生委員児童委員大会、初任者研修、全民生委員児童委員研修会の実施 ④各専門部会の活動支援の実施 ⑤神奈川県、横須賀市、その他の関係機関・団体の会議・行事・研修等への参加協力

(2) 多様な担い手の育成・参画～支え手と受け手の垣根を超える取り組み～

① 地域の担い手の育成・参画

【施策の展開】◎ ボランティアの要請及び活躍の推進

横須賀市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、ボランティアの養成や幅広い世代のボランティア活動への参加を促進するとともに、各地区社会福祉協議会が運営する地区ボランティアセンター相互の連絡を図り、地区ボランティアセンターが地区ごとのニーズに応じたボランティア活動を推進できるよう支援します。

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
ボランティア養成講座	ボランティア活動者の発掘及び活動者のスキルアップのため養成講座を実施	〔養成講座ほかの実績〕 令和元年度:運転ボランティア(受講者42人)、障害者外出支援ボランティア(受講者6人)、ボランティアスキルアップ講座年2回(受講者53人)、ボランティア活動体験(受講者16人) 令和2年度:中止 令和3年度:運転ボランティア(受講者18人)、ボランティア活動体験は受講者なし 令和4年度:運転ボランティア(受講者27人)、精神保健福祉ボランティア情報交換会(受講者24人)、ボランティアスキルアップ講座(38人)、ボランティア活動体験(受講者8人)

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
ハンディキャブ送迎サービス事業	ハンディキャブ「よこすか」(ボランティアグループ)の協力による外出困難な高齢者や心身障害者等を車輛により支援	〔実績〕(数値は「延」) 令和元年度:移送人数1,187人、活動者数830人、活動時間1,357時間44分、走行距離12,527km 令和2年度:移送人数468人、活動者数312人、活動時間465時間50分、走行距離4,421km 令和3年度:移送人数667人、活動者数466人、活動時間740時間32分、走行距離7,225km 令和4年度:移送人数737人、活動者数534人、活動時間908時間55分、走行距離8,364km ハンディキャブ「よこすか」会員数:15人 利用登録者:29人 (内訳:身体障害者20人、要介護認定者5人、要支援認定者3人、その他1人)
ボランティア活動の相談・登録・調整	横須賀市におけるボランティア活動の普及啓発 ①ボランティア活動者と依頼者の需給調整 ②ボランティア活動者や依頼者をはじめ障害当事者等からの相談(来所、電話、メール、訪問) ③ボランティア(個人・グループ)の登録 ④ボランティアグループの活動報告のとりまとめ ⑤ボランティア活動の広報	〔実績〕 令和元年度:相談・登録・調整2,911件(活動相談110件、依頼相談327件、その他相談2,474件)、依頼対応114件、登録個人275人、団体132団体 令和2年度:相談・登録・調整2,118件(活動相談147件、依頼相談127件、その他相談1,844件)、依頼対応21件、登録個人265人、団体125団体 令和3年度:相談・登録・調整1,806件(ボランティア・障害者等当事者からの相談377件、その他相談1,429件)、依頼対応24件、登録個人266人、団体122団体 令和4年度:相談・登録・調整1,845件(ボランティア・障害者等当事者からの相談168件、その他相談1,677件)、依頼対応30件、登録個人731人、団体134団体
ボランティアニュースの発行	登録ボランティアや地区ボランティアセンター、学校、企業等のボランティア活動の活性化のため、福祉、ボランティア活動に関するイベントや取組、登録ボランティアの活動を紹介	〔実績〕 発行回数:年4回(5月、8月、11月、2月) 発行部数:年14,000部(3,500部×4回) 編集委員:ボランティア6人 編集委員会:年8回
ボランティア活動啓発冊子の発行	ボランティア活動への関心を高めるとともに活動の活性化を促進するため、ボランティア活動に関する情報を冊子として発行	令和元年度～令和4年度「わたしが動くことで幸せになる人がいる」を発行 〔発行部数〕 令和元年度:500冊、令和2年度:1,000冊、令和3年度:1,000冊、令和4年度:1,000冊
ホームページによる情報提供事業	ボランティアセンターの事業や情報をホームページにより周知	〔主な内容〕 ボランティアの募集、講座・講演会・イベント情報、ボランティアニュース等(随時更新)
ボランティアセンター連絡会議の開催	各地区ボランティアセンターの相互連絡、情報共有、活性化のため、連絡会議を開催	①連絡会議の開催:年2回 ②今後の地区ボランティアセンターのあり方に関する意見交換会の開催 ③横須賀市との意見交換会の実施
地区ボランティアセンター活動育成事業	地区ボランティアセンターの運営費、家賃等借上料、移転に伴う拠点整備費を助成	〔助成額〕 運営費:上限30万円(年額) 家賃等借上料:上限10万円(月額) 拠点整備費:上限100万円(移転時)
横須賀市ボランティア連絡協議会事務局	ボランティアセンターの登録ボランティア(個人・グループ)で構成する横須賀市ボランティア連絡協議会の主体的活動の支援	〔実績〕 令和元年度:役員会12回、総会、ボランティア学習会、あったかハート交流会 令和2年度:役員会9回、総会、あったかハート交流会 令和3年度:役員会12回、総会、あったかハート交流会、キックオフフェスタ 令和4年度:役員会12回、総会、あったかハート交流会、キックオフフェスタ

地区ボランティアセンターにおけるコーディネート機能を強化し、地域におけるボランティア活動の推進を図ります。

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
ボランティア相談員・コーディネーター研修会の開催	地区ボランティアセンターのボランティア相談員やコーディネーター等のスキルアップのための研修会の開催	〔実績〕 令和元年度:研修会2回(受講者延48人) 令和2年度:中止 令和3年度:研修会2回(受講者延105人) 令和4年度:研修会3回(受講者延123人)

【施策の展開】◎学校教育における福祉教育の充実

学校においては総合的な学習の時間等の中で福祉教育を推進します。

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
小・中・高等学校ボランティアスクールの開催	ふれあいを通して福祉を理解することや自分達の果たせる役割について考えるきっかけとするため、高校生を対象に幅広い分野において(高齢者・障害者・乳幼児)福祉体験学習を実施	〔プログラム内容〕 障害当事者や本会職員等による講話、手話体験、点字体験、車いす体験、要約筆記体験、視覚障害者の誘導体験、高齢者疑似体験 〔実績〕 令和元年度:86回(受講者6,229人) 令和2年度:17回(受講者1,789人) 令和3年度:23回(受講者1,840人) 令和4年度:58回(受講者3,853人)

福祉施設等と連携を図りながら、福祉体験の場を身近にし、子どもの頃から福祉意識を育てる環境づくりを進めます。

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
高校生福祉体験学習(はまゆうキャンプ)	ふれあいを通して福祉を理解することや自分達の果たせる役割について考えるきっかけとするため、高校生を対象に幅広い分野において(高齢者・障害者・乳幼児)福祉体験学習を実施	〔実績〕 令和元年度:7月30日～8月1日(日帰り)、協力施設14か所(参加者79人) 令和2年度～令和4年度は中止
ふれあいキャンプ	多くのボランティアが集まり関係機関・団体とともに作り上げるキャンプで、参加者が養護学校卒業後に運営サポーターとして活動することで新たなボランティア活動に繋がり、また、実行委員として参加した学生を対象にした「事前学習→企画・準備→実践→振り返り」の一連の福祉教育事業のプログラムで福祉教育の場の提供や福祉人材育成のために実施 ①障害のある子どもの自立心や社会性を養い社会参加のきっかけとすること ②保護者が子どもと離れる時間を提供してレスパイトケアを図ること ③ボランティアが障害のある子どもと交流することで相互理解を図るとともに、新たなボランティア活動に取り組むきっかけとすること ④学生がキャンプの企画や運営をし、主体的な活動を通じて将来的なボランティアリーダーを養成すること	令和元年度:8月17日～18日 参加者 142人 同実行委員会 5月25日～8月24日 (実行委員会10回、事前説明会1回、前日設営・準備1回、実行委員学生14人) 令和2年度～令和4年度:中止

③災害時ボランティアセンターの設置

【施策の展開】◎災害時ボランティアセンターの受け入れ体制の整備

各地域における防災訓練等の取り組みを通し、関係機関との連携を強化し、災害時ボランティアセンターの開所からボランティアの受け入れまでを円滑に行う体制づくりを進めます。

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
災害時ボランティアセンター運営検討会の開催	横須賀市が大規模災害で被災した際の災害時ボランティアセンター設置に備えて、横須賀市災害対策本部でボランティア班を担う横須賀市、本会、横須賀災害ボランティアネットワークの三者が協働してセンター運営を行えるよう検討会を開催	〔実績〕 ①令和元年9月に「横須賀市災害時ボランティアセンター設置運営マニュアル」を改訂 ②平成31年4月に本会の事業継続計画の策定 ③運営検討会の開催 令和元年度：2回、令和2年度：1回、令和3年度：1回、令和4年度：3回
災害時ボランティアセンター設置運営訓練の実施	横須賀市が大規模災害で被災した想定における災害時ボランティアセンターの設置・訓練の実施	〔設置運営訓練実績〕 令和元年度：参加者46人 令和2年度～令和3年度：中止 令和4年度：参加者60人
横須賀災害ボランティアネットワーク事務局	横須賀災害ボランティアネットワークの主體的活動への支援	〔実績〕 令和元年度： 役員会6回、運営委員会12回、総会、災害時におけるインターネット活用講座、災害時ボランティアセンターコーディネーター養成講習会（受講者41人）、横須賀しゃべり場3回（参加者延75人）、寒冷期避難所宿泊体験（参加者58人）、災害ボランティアネットワーク運営委員によるDIG、DITSを使用した街歩き訓練 令和2年度： 役員会3回、運営委員会11回、総会、Zoom研修会6回 令和3年度： 役員会随時、運営委員会12回、総会、マニュアル改訂検討会等4回、緊急時参集訓練 令和4年度： 役員会随時、運営委員会12回、総会

(3) 包括的な支援体制の整備

③自立に向けた支援

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
生活福祉資金貸付事業	世帯の自立支援を図るため、生活の維持が困難になった世帯（総合支援資金）、低所得者世帯や高齢者・障害者世帯（福祉資金）、高校・大学などへの進学や通学の経費を必要とする世帯（教育支援資金）、自宅に住み続けたい高齢者世帯（不動産担保型生活資金）に対し、資金の貸し付けと必要な援助を実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した世帯を対象とした特例貸付を実施（令和2年3月～令和4年9月） 〔実績〕 申請件数：11,113件、申請金額：4,305,415,000円
たすけあい資金貸付事業	低所得者世帯等の生活支援を行い地域福祉の推進に資するため、緊急一時的に生計の維持が困難となった低所得者世帯等に対し、地区社協及び市福祉事務所で簡便な方法で小口資金を貸し付け	〔貸付限度額〕 地区社協及び市福祉事務所において、1世帯あたり30,000円を限度として、借入申込者の償還能力を考慮した貸付 〔実績〕 令和元年度：234件、6,032,437円 （地区社協21件、552,000円／福祉事務所213件、5,480,437円） 令和2年度：212件、4,234,541円 （地区社協20件、540,000円／福祉事務所192件、3,694,541円） 令和3年度：196件、5,425,338円 （地区社協24件、610,000円／福祉事務所172件、4,815,338円） 令和4年度：224件、4,683,841円 （地区社協26件、525,000円／福祉事務所198件、4,158,841円）

④権利擁護の推進(「成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画」)

【施策の展開】◎成年後見制度の利用促進

日常的な生活の見守りや支援を受けながら、安心して地域での生活を送ることができるよう成年後見制度の普及・促進を進めます。

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業内容・実績
日常生活自立支援事業	認知症高齢者、精神・知的障害者等の権利擁護及び自立生活のため、福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス及び書類等預かりサービス等を提供	①専門員等によるモニタリング、相談受付、訪問調査、新規契約 ②生活支援員等による利用者宅等への訪問 ③日常生活支援事業審査会:年3~4回 ④ケースカンファレンス:随時 ⑤生活支援員研修会:年1回 〔令和4年度実績〕 ①福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス:46件 ②書類等預かりサービス:4件

成年後見制度の普及・啓発や市民後見人の養成・支援を行うことで、さらなる成年後見制度の利用を促進します。

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
よこすか市民後見人等運営事業	成年後見制度の利用促進を図るとともに、成年後見制度の社会的需要に対応するため、よこすか市民後見人の養成及び活用を行い、かつ、市民後見人が安全・適切に活動できるよう管理・支援	〔実績〕 ①市民後見人養成講座受講者数 令和元年度:53人、令和2年度:中止、令和3年度:43人、令和4年度:46人 ②令和4年度末選任実績:28件受任中
成年後見事業	成年後見制度の利用促進を図るとともに、成年後見制度の社会的需要に対応するため、市民後見人が後見人等に受任しているケースについて後見等監督人を受任	〔実績〕 令和4年度末後見等監督人の受任数:20件

2 やさしさあふれる福祉のまちづくり

(1)心のバリアフリーの推進

①他人に対する思いやりの心の醸成

【施策の展開】◎福祉教育の推進

学校や地域での福祉教育を通して、高齢者、障害者等の生き方を我が事として捉え、心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力する思いやりの心の醸成を図ります。

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
【再掲】 高校生福祉体験学習(はまゆうキャンプ)	ふれあいを通して福祉を理解することや自分達の果たせる役割について考えるきっかけとするため、高校生を対象に幅広い分野において(高齢者・障害者・乳幼児)福祉体験学習を実施	〔実績〕 令和元年度:7月30日~8月1日(日帰り)、協力施設14か所(参加者79人) 令和2年度~令和4年度は中止

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
【再掲】 ふれあいキャンプ	多くのボランティアが集まり関係機関・団体とともに作り上げるキャンプで、参加者が養護学校卒業後に運営サポーターとして活動することで新たなボランティア活動に繋がり、また、実行委員として参加した学生を対象にした「事前学習→企画・準備→実践→振り返り」の一連の福祉教育事業のプログラムで福祉教育の場の提供や福祉人材育成のために実施 ①障害のある子どもの自立心や社会性を養い社会参加のきっかけとすること ②保護者が子どもと離れる時間を提供してレスパイトケアを図ること ③ボランティアが障害のある子どもと交流することで相互理解を図るとともに、新たなボランティア活動に取り組むきっかけとすること ④学生がキャンプの企画や運営をし、主体的な活動を通じて将来的なボランティアリーダーを養成すること	令和元年度:8月17日～18日 参加者 142人 同実行委員会 5月25日～8月24日 (実行委員会10回、事前説明会1回、前日設営・準備1回、実行委員学生14人) 令和2年度～令和4年度:中止
【再掲】 小・中・高等学校ボランティアスクール開催	ふれあいを通して福祉を理解することや自分達の果たせる役割について考えるきっかけとするため、高校生を対象に幅広い分野において(高齢者・障害者・乳幼児)福祉体験学習を実施	[プログラム内容] 障害当事者や本会職員等による講話、手話体験、点字体験、車いす体験、要約筆記体験、視覚障害者の誘導体験、高齢者疑似体験 [実績] 令和元年度:86回(受講者6,229人) 令和2年度:17回(受講者1,789人) 令和3年度:23回(受講者1,840人) 令和4年度:58回(受講者3,853人)
福祉のまちづくり出張トーク	事業への理解・参加促進や地域との福祉のまちづくりを考える機会とするため、事業をはじめ地域福祉やボランティア活動などについて、職員からの講話、意見交換などを実施	対象:住民、各種活動団体など(原則10人以上) 開催日・会場:希望日時及び用意された会場 実施日:随時(平日の時間外、土・日・祝日も可) テーマ:市社協の事業をはじめ、広く地域福祉、ボランティア活動に関すること

③誰もが情報を共有しやすい情報発信の推進

事業名	事業の目的・概要	これまでの事業実績
ホームページによる市社協の情報提供	地域福祉推進における広報事業として、市社協の運営・事業などをホームページから情報提供	社協だより、講座・催しの参加募集などホームページの更新による情報提供 令和5年3月にホームページをリニューアル